



デイケア通信 ~8月号~

お盆が過ぎ、「暑さ寒さも彼岸まで・・・」と言われているように暑さも和らぐかと思いましたが、まだまだ暑い日が続いています。皆さま体調は崩されていませんか？

8月行事報告



8月17日(火)・18日(水)・20日(金)に流しそうめんを行いました。薬味のネギを刻んでもらうと「これは、何に使うの？」と不思議そうに職員に尋ねる方もみえ、今から流しそうめんを行うことを伝えると、「へえ～」と少々驚かれていました。

薬味のネギ・生姜を入れるか尋ねると「私、ネギだけ」「私は両方」と答えてくれました。

行った時間が昼食後でしたが、皆さん「こっちまで流れて来ないよ」という声が出るくらい、流れてくるそうめんを箸でつまんで食べてくださいました。普段、麺類はとろみをつけて食べている方も、とろみをつけなくてもむせたりすることなく、上手にすすって食べられていました。



9月行事予定

日時 9月24日(金)

内容 ドライブ

*レクリエーションの一環として行います。

9月の床屋

14日(火)

15日(水)

*ご希望の方は理美容申込書に記入してお渡し下さい。

10月行事予定

日時 未定

内容 運動会

*後日、案内させていただきます



認知症の人を理解する手がかり？！

家族が認知症になってしまうと、介護をしている家族は「今までとは別人のようになって、わけのわからないことをする」「私だけに嫌がらせをしている」などと感じやすく、混乱状態に陥りやすいそうです。それは、認知症に対する知識不足や誤解から生じるものだと思います。

介護をしている家族の方は次のような認識がもてると認知症の人を理解する手がかりになるのではないのでしょうか？

- ① どんな異常に見える認知症の人の行動にも、何らかの意味があり、理由があります。何もわからない人になったのではないのです
- ② 認知症の人と同じ立場にたてば、認知症でない自分たちにも、同じ状況なら同じ行動をする可能性があります。
- ③ 記憶障害や様々な認知機能が低下しても、感情やプライドは豊かに残っているものです。

混乱状態に陥っている介護をしている家族の方に、認知症の人の立場に立つことをすすめても、なかなか受け入れることはできないと思います。しかし、何にもわからない人の介護をしているという思いで介護をしていくことは、家族にとっても本人にとっても、辛く実りのない道のりとなってしまいます。ほんの少し、認知症の人の立場で考え、本人を尊重するケアを行うことで、驚くほどの「認知症の回復」をもたらすとされています。

暴言・暴力



人の助けは
借りたくない
(介護拒否)

実は・・・
「子供扱いしないで
欲しい」という訴え
かもしれません

落ち着きなく
歩き回る
(徘徊)

実は・・・
「人に迷惑をかけ
たくない」という
性格の現れかも
かもしれません

実は・・・
「おなかの具合が変だけど、
どうすればよいのか分からない」と
いう体調不良のサインかもしれません



認知症のご家族を介護している方が困っていることを相談できる場 サンサン相談室があります。専門スタッフがその人らしい生活が送れるようなヒントやサービスの活用方法を一緒に考えていきます。日頃、思っていることを話すことで気が楽になると思います。

次回は 9月25日(土) 午前10時～12時

地域生活支援センター ひびき2階(のぞみの丘ホスピタル正面玄関 南側)

当施設を利用されていない方でもどなたでもご参加頂けます。参加を希望される方は9月18日(土)までに当施設までご連絡下さい。